

中津川 仙台下クラブ 活動報告 2016.10



仙台下川原ってどこにあるの？

水道みち滝ノ沢橋右岸に沿って行くと川原の堤防に出ます。そこから見える滝ノ沢の流れから上流側が仙台下川原です。堤防の土手を走っていくと水天宮さんの小さな祠（ほこら）が見えますが、その手前から川原に降りられます。作業用通路ばかりですから4駆が楽です。

今何してるの？

この仙台下川原の整備をしています。その概要はリーフレット「中津川の水源環境を復活させよう」



に掲載されています。広大な仙台下川原の特定外来植物であるニセアカシヤをはじめ、無駄な樹木を取り除き除草をして水源環境改善と同時に地域の人たちの憩いの場所になるように整備しています。

ここに遊びに来られる方がこの作業に参加され、自分の思いをこの広大なキャンバスに描いてみてはいかがでしょうか。もちろん、川原は公共の場所ですからみんなに楽しく安全に使っ

てもらえるように作ることが基本です。

これからどう発展するの？

川の整備だけではなく、愛川町のまちづくりに貢献していきたいと思っています。以下のいろんな事業を計画していますのでこれに賛同していただける方の参加を心からお待ちしております。

- 1) 休耕田をお借りしてコメ作りにチャレンジします。もうすでに3年目に入っています。
- 2) 休耕地や川原の土手などの除草、裏山の樹木の間伐や下刈りなどニーズにこたえて請負仕事をしています。いまのところ補助金以外の貴重な収入源です。
- 3) 観光お花畑と野菜畑づくり。休耕中の仙台下農地を預かり、広い観光お花畑作りに着手してい





ます。春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスを咲かせ、町内外の人が楽しめる場を作ります。野菜畑も作り、川原や畑で働いた帰りにお土産を持ち帰られるようになります。

4) 間伐で出た樹木からキノコのホダギを作り、シイタケ、ヒラタケ、ナメコなど新鮮なキノコを生産します。生産物は働いた人へ還元します。

5) 間伐材を薪にします。まき割り機械も入手しました。薪ストーブを普及させ、エコな生活を味わえます。

6) 竹林を整備し、タケノコを生産します。タケノコ採り放題のイベントなどで収入を得ますが、作業に参加したみんなで分け合ってお土産にします。

7) そのほか、野山を整備して生まれる副産物を工夫して新しい需要を見つけ出すことも可能です。つる草からリースを作る、山野草を育てる、・・・。



楽しいことがたくさん待っている広場です。リタイヤされて環境作業に参加しながら小さな子供たちを指導してくれるヒト、子育てママさんと子供たち、川原でキャンプしたいBBQやったり、トレッキングやマウンテンバイクをやってみたい人、犬を思いっきり野外で遊ばせたい人、里山の収穫を楽しみたい人、集まってみんなで思いを実現しませんか。



お問い合わせ先は；代表 沼田 彰 080-1066-5154
 e-mail:sumida@hb.tp1.jp
 URL:www7b.bigloe.ne.jp/~sendaishita/